

# 2024年2月の安全衛生カレンダー

## 1日～8日

11月1日～3月31日◎冬の省エネキャンペーン(資源エネルギー庁)

◎ウォームビズ(環境省)

12月1日～4月30日◎安全衛生教育促進運動(中央労働災害防止協会、厚生労働省)

1月1日～2月29日◎「はたちの献血」キャンペーン(厚生労働省、日本赤十字社)

1月15日～5月31日◎緑の募金(国土緑化推進機構)

2月1日～2月29日◎省エネルギー月間(資源エネルギー庁)

◎全国生活習慣病予防月間(日本生活習慣病予防協会、厚生労働省)

2月1日～3月18日◎サイバーセキュリティ月間(内閣府)

1日(木)・省エネの日(毎月1日、資源エネルギー庁)

・フレイルの日(フ(2)レ(0)イ(1)ルの語呂合わせから、フレイル=「加齢に伴って心身の衰えた状態」：日本老年学会等)

・サイバーセキュリティの日(内閣府)

・自動車損害賠償責任保険が強制加入に1956(昭和31)

・三宅島全島避難指示(噴火)を4年6ヵ月振りに解除、帰島が始まる2005(平成17)

★東名高速道で車31台が玉突き事故6台炎上、2人死亡、23人負傷 静岡1972(昭和47)

★上水道送水管新設トンネル工事で湧出した天然ガスが爆発、4人死亡 東京・江東1993(平成5)

2日(金)・世界湿地の日(環境省)

★「長岡地震」M5.2、震度5～6の地震 死者5人、負傷30人、家屋全半壊670戸以上 新潟・長岡1961(昭和36)

★ダイカスト工場のアルミ研磨工程で爆発火災、1人死亡、7人負傷 粉じん爆発の可能性 大阪・高槻2005(平成17)

★プラスチック製造プラントが爆発炎上、点検に行った2人重傷 名古屋・港区2006(平成18)

3日(土)・節分

・札幌で第11回冬期オリンピック開会 アジアで初の冬期五輪1972(昭和47)

★北陸本線勝山トンネル付近で列車に雪崩が直撃 乗車していた除雪作業員など90人死亡 新潟・糸魚川1922(大正11)

★ガス湯沸器の不完全燃焼でCO中毒 菓子製造工場で、10人が頭痛・めまいを訴え病院へ、4人入院 新潟・新潟2007(平成19)

★火力発電所で点検作業中に大型機械に両足を挟まれて男性作業員が死亡 島根・浜田2022(令和4)

4日(日)・立春(24節気の一つ、春に入る日、この日以降初めて吹く南寄りの強風を「春一番」という)

・日本初の実用静止通信衛星「さくら2号a」打ち上げ成功1983(昭和58)

★ダム発電所工事現場で残留火薬が爆発、19人死亡、20人負傷 静岡・天竜川1955(昭和30)

★全日空ボーイング727が着陸直前羽田沖に墜落 乗客・乗員133人全員死亡1966(昭和41)

5日(月)★集合住宅内で塗装作業中、有機溶剤中毒で4人が倒れ、1人死亡 埼玉・川口2005(平成17)

★自衛隊のヘリコプターが墜落し周辺住宅3棟焼損 ヘリ乗員2人死亡、住民1人負傷 佐賀・神埼2018(平成30)

★発電所新設工事現場で型枠(高さ約4m)が崩落 乾いていないセメントが流出、作業員1人死亡 新潟・糸魚川2022(令和4)

6日(火)★病院で火災、4人死亡、5人負傷 凍結したドレンパイプをバーナーで溶解中、下地板に着火 北海道・札幌1977(昭和52)

★防火水槽設置工事現場で、乾燥用練炭コンロによるCO中毒1人死亡、1人重体 群馬・沼田2008(平成20)

★バイオマス発電所建設現場のタンク内部で11人が一酸化炭素中毒、酸欠 その内が1人死亡 静岡・御前崎2023(令和5)

7日(水)・北方領土の日 歯舞、色丹、国後、択捉の4島返還運動を推進する日1981(昭和56)年に制定 内閣府

・第18回冬期オリンピック長野大会が開会1998(平成10)

★畑の芋貯蔵穴を点検中に酸欠、倒れた人を助けに入った2人、計3人死亡 茨城・鉾田1991(平成3)

★搬出中の券売機の下敷きになって1人死亡、2人重軽傷 地下鉄駅階段で搬出中滑り落ち 東京・千代田2006(平成18)

★製油所の掘削中の海底トンネルに海水が流入、5人死亡 岡山・倉敷2013(平成24)

8日(木)★下水道工事現場で漏れたガスが爆発、1人死亡、19人負傷 神戸市・東灘区1977(昭和52)

★ホテルニュージャパンが火災、33人死亡、34人負傷 東京・赤坂1982(昭和57)

★大阪湾内を航行中のタンカーが転覆、乗員3人が行方不明 2000(平成12)

★グループホームで火災、4人死亡、職員含む8人負傷 長崎・長崎2013(平成25)

★集合住宅で老朽配管交換作業中、発電機の排ガスでCO中毒、3人重体 北海道・留萌2019(平成31)

## 2月の安全衛生歳時記

## 9日~18日

- 9日(金)★羽田空港沖で日航機が墜落 操縦士が墜落寸前に逆噴射 24人死亡、147人負傷 1982(昭和57)
- ★都市ガス管撤去工事中ガスが穴の中に漏れて酸欠状態、2人死亡、1人重体 神奈川・横浜 2002(平成14)
  - ★アセトンを配送後のローリーのタンクに入った2人が倒れ、1人死亡、1人重体 新潟・聖籠 2011(平成23)
  - ★病院で火災、入院患者1人死亡、7人負傷 死亡した患者の病室が火元、ライターの花から引火 徳島・鳴門 2011(平成23)
- 10日(土)・海の安全祈念日 2001(平成13)年、宇和島水産高校の実習船「えひめ丸」が米原子力潜水艦に衝突されて沈没、9人が死亡したのを契機に
- ・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)
  - ・「復興庁」が発足、東日本大震災からの復興の司令塔 2012(平成24)
  - ★阪神高速道路北神戸線の高架橋工事現場で仮設橋が落下、1人死亡、5人負傷 大阪 1987(昭和62)
  - ★映画撮影所で火災、1人死亡、26人負傷 東京・調布 1989(平成1)
  - ★国道のトンネルで岩盤が崩落して路線バス等が埋没、20人死亡 北海道・積丹半島 1996(平成8)
  - ★温泉掘削現場で天然ガスが噴出、引火して火災、24時間後に鎮火 東京・北 2005(平成17)
- 11日(日)・建国記念の日
- ・文化勲章制定記念日 1937(昭和11)年、文化勲章令が制定
  - ・日本初の国産人工衛星「おおすみ」打上げに成功 ソ、米、仏に次いで世界で4番目 1970(昭和45)
  - ★温泉ホテル火災で24人死亡 誤報が多いため火災報知器を切っていた 静岡・熱川 1986(昭和61)
  - ★発達した低気圧により東京で25年振りの大雪、交通機関混乱、転倒などで12人死亡 1994(平成6)
  - ★製菓工場火災、女性アルバイト従業員4人と男性社員2人が焼死、1人負傷 新潟・村上 2022(令和4)
  - ★京阪電鉄駅前の工事現場で、クレーンで吊り上げた鉄骨が落下し作業員が下敷きで死亡 大阪・枚方 2023(令和5)
- 12日(月)・ペニシリンの日 英オックスフォード大附属病院が世界で初めてペニシリンの臨床実験に成功 1941(昭和16)
- ★植村直己、初の北米マッキンリー冬期単独登頂、下山途中に行方不明 1984(昭和59)
  - ★道央自動車道下りで観光バスや大型トラックなど42台が多重追突事故、死傷者71人 北海道・深川 2003(平成15)
  - ★食品物流センターで火災、3人死亡、1人負傷 冷凍機入替工事の配管溶接の火花が引火の可能性 東京・大田 2019(平成31)
- 13日(火)・製品安全点検日(毎月第2火曜、経済産業省)
- ★踏切で電車がマイクロバスと衝突、5人死亡、5人負傷 福島・水郡線 1975(昭和50)
  - ★低気圧が日本付近で猛烈に発達し強風、高波、雪害、26人死亡 関東、北陸など 1990(平成2)
  - ★タンク内清掃準備作業中、上部の穴から2人転落して死亡 硫化水素の可能性 大阪・和泉 2019(平成31)
  - ★福島県沖を震源としたM7.3、震度6強の地震 宮城、福島2県で3人死亡、負傷者多数 宮城~福島 2021(令和3)
  - ★廃棄物リサイクル会社で古紙の運搬作業中、ブロック状の古紙の下敷きになり作業員死亡 広島・広島 2023(令和5)
- 14日(水)・円が変動相場制に移行 1ドル277円22銭でスタート 1973(昭和48)
- ★火薬工場爆発、20人死亡、35人負傷 周辺住宅等270戸損壊 東京・府中 1953(昭和28)
  - ★体育館新築工事で2階床が崩落、2階床コンクリート打設中、7人死亡、14人負傷 神奈川・大和 1992(平成4)
  - ★ビル解体工事現場でガス配管切断中に爆発、2人重軽傷 福井・福井 2011(平成23)
- 15日(木)・世界初のコンピューターとされるENIACが米ペンシルバニア大で完成、重さ30トン 1946(昭和21)
- ★ロシア南部チェリャビンスク州上空で隕石が爆発、衝撃波で1,500人以上負傷 2013(平成25)
- 16日(金)・天気図記念日 日本で初めての天気図が作られた 1883(明治16)
- ・京都議定書が発効、先進国に温室効果ガスの削減を義務づける 2005(平成17)
  - ★ドックで修理中のLPGタンカーが火災、15人死亡、6人負傷 愛知・知多 1966(昭和41)
  - ★ドックで修理中の貨物船の機関室から火災、12人死亡、11人負傷 横浜 1989(平成1)
  - ★茨城県南部を震源とする地震 M5.4、震度5弱、負傷者26人、ブロック塀の倒壊など 茨城県南部 2005(平成17)
  - ★首都高速小松川線の高架下塗装工事現場のシートで困った足場で火災、2人死亡 東京・江戸川 2015(平成27)
  - ★九州自動車道のトンネルでトラックが大型トラックに追突、トラック同乗者2人が死亡 熊本・八代 2022(令和4)
- 17日(土)○アレルギー週間(~23日、日本アレルギー協会ほか)
- ★修道院付属養老院が漏電で全焼、99人死亡、9人負傷 横浜 1955(昭和30)
  - ★破碎薬の製造所で混合作業中に爆発事故、2人死亡、1人負傷 福岡・北九州 2005(平成17)
- 18日(日)・嫌煙運動の日 1978(昭和53)年東京で嫌煙運動がスタート
- ・二輪・自転車安全日(毎月18日)
  - ★エレベーターが12階から落下、改修工事で上に乗っていた2人重傷 福岡・福岡 2005(平成17)

## 2月の安全衛生歳時記

## 19日~29日

- 19日(月)・雨水(うすい)(24節気の一つ、降る雪が雨に変わり、雪解けが始まる時期)  
・日本初の自動車運転規則が制定 1907(明治40)年、運転免許制度、速度制限などを規定  
★製鉄所の発電用ボイラーが試運転中に爆発、4人死亡、25人負傷 千葉・千葉 1965(昭和40)  
★あさま山荘事件 過激派の5人が保養所に人質をとって立てこもり機動隊と銃撃戦、28日全員逮捕、警官2人死亡 長野・軽井沢 1972(昭和47)  
★製油所で油漏えい事故 スロップタンクの浮き屋根上に油が漏えい、浮き屋根が沈没して破損 大分・大分 2005(平成17)
- 20日(火)・アレルギーの日 1966(昭和41)年、ブタクサによる花粉症の研究からアレルギーを起こす免疫抗体が発見されたのを記念、日本アレルギー協会  
★作業場から出火して大火災に、3人死亡、874人負傷、2,238棟焼損 秋田・能代市 1949(昭和24)  
★架橋工事現場でコンプレッサの故障によるガス中毒で6人死亡 栃木・那珂川 1976(昭和51)  
★水中翼船が引き船に曳航された台船と衝突、55人負傷 広島・呉市沖 1991(平成3)
- 21日(水)・日刊新聞創刊の日 1872(明治5)年、我が国初の日刊新聞「東京日日新聞」(現毎日新聞)創刊  
★えびの地震 南九州3県の県境付近でM6.1の地震、近くのえびの町(現:えびの市)などで土砂崩れ、死者3人、負傷42人 1968(昭和43)  
★観光ホテルで電気配線の過熱から火災、11人死亡、2人負傷 山形・蔵王 1983(昭和58)  
★病院の高気圧酸素治療室のタンクが爆発、患者ら2人死亡、3人負傷 山梨・山梨 1996(平成8)  
★JR山手貨物線で保線工事中、臨時回送列車にはねられ5人死亡 東京・品川 1999(平成11)
- 22日(木)・吉野ヶ里遺跡が発見される 弥生時代後期で最大の環濠集落 1989(平成1)  
★炭鉱坑内でメタンガスが引火爆発、落盤等で62人死亡 北海道・夕張 1965(昭和40)  
★猪をはねて停車中の普通列車に信号誤認の後続急行列車が追突、乗客ら90人負傷 福岡・JR鹿児島線 2002(平成14)  
★病院建設工事現場で大型クレーンが横転、1人死亡3人重傷 型枠用角材吊上げ中 長野・駒ヶ根 2010(平成22)  
★溶かした合金鉄(約1,300℃)を全身に浴びて作業員が1人死亡 徳島・阿南 2014(平成26)  
★整備工場で整備中のタンクローリーが残留危険物で炎上、1人死亡、3人重軽傷 埼玉・狭山 2018(平成30)  
★造船工場で、建造中の船内で爆発 船底部分で溶接作業をしていた作業員が死亡 長崎・長崎 2023(令和5)
- 23日(金)・天皇誕生日  
・ローマ法王ヨハネ・パウロ2世が歴代法王で初めて来日、広島で核廃絶を訴える 1981(昭和56)  
・東大の素粒子観測装置「カミオカンデ」がニュートリノ検出に世界で初めて成功 1987(昭和62)  
・トリノ冬期五輪フィギュアスケート女子で荒川静香がアジア選手初の金メダル 2006(平成18)  
★安政東海地震、家屋の倒壊、焼失3万棟、2千人以上死亡、房総から土佐に津波 1854(安政元)  
★軽油を10tタンクローリーへ荷積み中に出火、作業員2人が重軽症 東京・江東 1999(平成11)
- 24日(土)・地雷を考える日 1995(平成7)年、カンボジアで地雷の根絶を訴える集會が開かれた  
★4階建ビルの屋上で防水シート張替え作業中2人転落、1人死亡、1人重傷 兵庫・神戸 2014(平成26)  
★老人ホーム建設現場で溶接用ガスボンベが爆発、作業員1人重体、1人重傷 秋田・大館 2015(平成27)  
★商業施設駐車場で除雪作業中、同僚が運転する除雪車にはねられて死亡 青森・むつ 2022(令和4)
- 25日(日)・箱根用水完成の日 1670(寛文10)年、日本の土木史上重要な意味を持つ箱根用水が完成  
★食糧難時代の買出し列車が転覆、屋根の上の乗客ら184人死亡 埼玉・八高線 東飯能~高麗川間 1947(昭和22)  
★樹脂工場でダクト溶接作業の火が引火して火災、約1千㎡を焼き5時間後鎮火 愛知・津島 2006(平成18)  
★農業用水管内で錆止め塗装作業中、有機溶剤中毒で1人死亡、2人負傷 愛知・西尾 2017(平成29)  
★産業機械エンジン部品製造工場で、作業員が製造ラインの機械に頭を挟まれて死亡 滋賀・長浜 2021(令和3)
- 26日(月)・咸臨丸の日 幕府の使節団が37日の航海でサンフランシスコに到着 1860(万延元)  
・パナマ運河開通記念日 1914(大正2)年、太平洋と大西洋を連絡するパナマ運河が開通  
★「二・二六事件」陸軍の青年将校が1,500人の部隊を率いて首相官邸などを襲撃、高橋是清蔵相ら3人殺害 1936(昭和11)  
★修理船機関室でガスバーナー作業中服に着火、全身火傷で死亡 宮城・気仙沼 2008(平成20)  
★木工所の木造作業場2棟と隣接の小屋全焼、経営者と従業員2人が死亡 秋田・由利本荘 2022(令和4)
- 27日(火)・東北新幹線八甲田トンネル(全長26.455km)が貫通 2005(平成11)  
★富士航空機が着陸の際オーバーランして石垣に激突、20人死亡、22人負傷 大分・大分空港 1964(昭和34)
- 28日(水)★鉄橋上で竜巻により電車3両が脱線転覆、21人重軽傷 東京・東西線・葛西、南砂間 1978(昭和53)  
★大衆酒場の30㎡焼損の火災で、新建材の有毒ガスで8人死亡 大阪・生野 1986(昭和61)  
★「平成18年豪雪」前年12月~2月末まで、18道県で139人死亡 雪下ろしなどの除雪作業で、高齢者が3分の2
- 29日(木)・東京スカイツリーが完成 高さ634m、3月2日に竣工式 東京・墨田 2012(平成24)

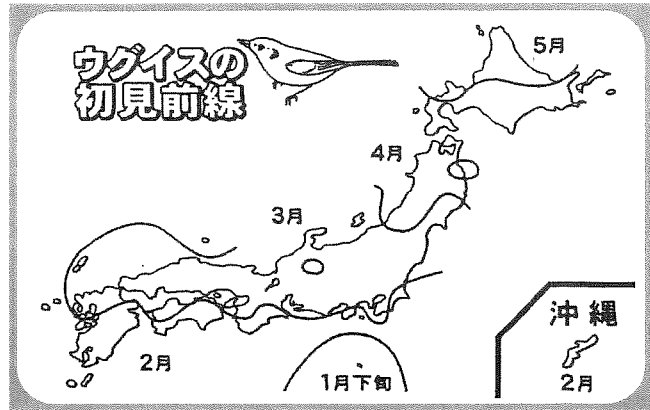
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

2月の安全衛生歳時記

# 2月の気象と安全・衛生・防災管理

	日の出・日の入		気温 (℃)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道(札幌)	6:34	17:05	-2.7	68	103.5
青森	6:32	17:11	-0.4	76	72.3
岩手(盛岡)	6:29	17:11	-0.9	71	124.8
宮城(仙台)	6:28	17:14	2.4	64	154.7
秋田	6:33	17:15	0.8	72	64.3
山形	6:30	17:16	0.4	77	99.6
福島	6:29	17:16	2.5	65	144.8
茨城(水戸)	6:27	17:18	4.1	63	174.3
栃木(宇都宮)	6:30	17:20	3.8	59	193.3
群馬(前橋)	6:33	17:24	4.5	52	201.2
埼玉(熊谷)	6:29	17:22	5.1	52	199.8
千葉(銚子)	6:27	17:21	6.9	64	159.0
東京	6:29	17:22	6.1	52	170.4
神奈川(横浜)	6:29	17:23	6.7	54	167.2
新潟	6:35	17:22	3.1	74	74.3
富山	6:40	17:31	3.4	78	89.7
石川(金沢)	6:42	17:33	4.2	70	86.5
福井	6:43	17:36	3.7	78	88.4
山梨(甲府)	6:34	17:27	4.7	52	195.4
長野	6:36	17:27	0.4	74	140.2
岐阜	6:40	17:34	5.4	62	165.7
静岡	6:33	17:28	7.7	57	187.5
愛知(名古屋)	6:39	17:34	5.5	60	175.5
三重(津)	6:40	17:36	5.9	61	156.2
滋賀(彦根)	6:43	17:38	4.2	74	115.6
京都	6:44	17:39	5.4	65	122.2
大阪	6:45	17:40	6.6	60	140.6
兵庫(神戸)	6:46	17:42	6.5	61	142.4
奈良	6:43	17:39	4.7	69	116.8
和歌山	6:45	17:42	6.7	61	143.1
鳥取	6:51	17:44	4.7	74	83.7
島根(松江)	6:55	17:49	5.0	74	88.6
岡山	6:51	17:47	5.2	66	145.4
広島	6:56	17:53	6.2	65	140.1
山口(下関)	7:00	17:57	7.5	63	116.1
徳島	6:47	17:45	6.8	61	152.5
香川(高松)	6:50	17:46	6.3	63	143.8
愛媛(松山)	6:54	17:52	6.8	63	142.2
高知	6:51	17:50	7.8	60	177.2
福岡	7:03	18:02	7.8	62	123.5
佐賀	7:03	18:03	7.0	67	139.5
長崎	7:04	18:05	8.1	65	122.3
熊本	7:01	18:02	7.4	67	141.1
大分	6:58	17:58	7.2	63	149.1
宮崎	6:57	18:00	8.9	67	170.8
鹿児島	7:00	18:04	9.9	65	139.3
沖縄(那覇)	7:06	18:22	17.5	69	93.1

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）  
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



●2月は寒暖差の大きい時期で、気象の変化が激しい月です。

この時期、日本海側では豪雪・暴風雪となる日もあり、除雪作業や雪下ろしでの事故に要注意です。また、太平洋側では乾燥した晴天も多くなりますが、低気圧が本州の南海上を通過して大雪になることもあります。

一方、低気圧が日本海で発達して強い南風が吹き荒れて「春一番」となります。屋外作業や火気使用時には注意が必要です。また、春一番の後は寒気が流れ込み、寒さが戻ることがあります。寒暖の変動が大きく、体調を崩しやすくなります。対策を心がけましょう。

●2月中旬頃から花粉の飛散が増え始めます。現在日本では国民の約4～5割が花粉症に罹患しています。くしゃみや鼻水・鼻づまり、目のかゆみなどで作業への集中を欠き、作業効率を低下させるだけでなく、思わぬ事故にもつながりかねません。

●職場の安全衛生面では、依然として冬特有の問題：凍結・積雪危険、静電気の発生、換気不良等による一酸化炭素中毒や有機溶剤中毒、作業環境の悪化などに注意が必要です。安全行動の省略にも注意が欠かせません。

2月の安全衛生歳時記

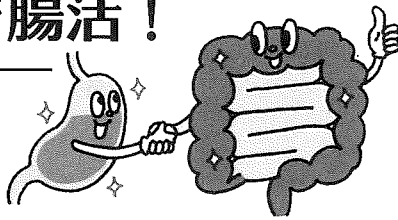
2月1日～29日

# 全国生活習慣病予防月間

## 二少：少食で腸活！

いちむ にしょう さんた  
「一無、二少、三多」  
で

生活習慣病予防



- 一無  
「無煙、禁煙」の勧め
- 二少  
「少食、少酒」の勧め
- 三多  
「多動・多休・多接」の勧め

体を多く動かし、  
しっかり休養をとり、  
多くの人、事、物に接する。

2月は「全国生活習慣病予防月間」です。  
(日本生活習慣病予防協会、厚生労働省)  
日本生活習慣病予防協会では、生活習慣病予防に対する国民の意識向上と、これによる健康寿命(健康に生活できる期間)の伸長を目的に、毎年2月を全国生活習慣病予防月間と定めて、広く啓発活動を実施しています。

「生活習慣病」は、「食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症や進行に深く関与する疾患群」と定義されています。

病原体や有害物質、遺伝的な要素は、疾病の発症や進行に影響しますが、食習慣、運動習慣、休養の取り方、嗜好などの生活習慣が、糖尿病、高血圧、さらには、がん、脳卒中、心臓病など多くの疾病の発症や進行に深く関わっていることが明らかになっています。

以前は「成人病」といわれ、二次予防(早期発見・早期治療)に重点が置かれていたのに対し、一次予防(発症予防)に重点を置いた対策が重要なことから「生活習慣病」と呼ばれるようになりました。

生活習慣病予防協会では、生活習慣病を予防するために実行して欲しい健康習慣として、上記の「一無」、「二少」、「三多」の実践を呼びかけていますが、中でも今年の重点を「一少」としています。

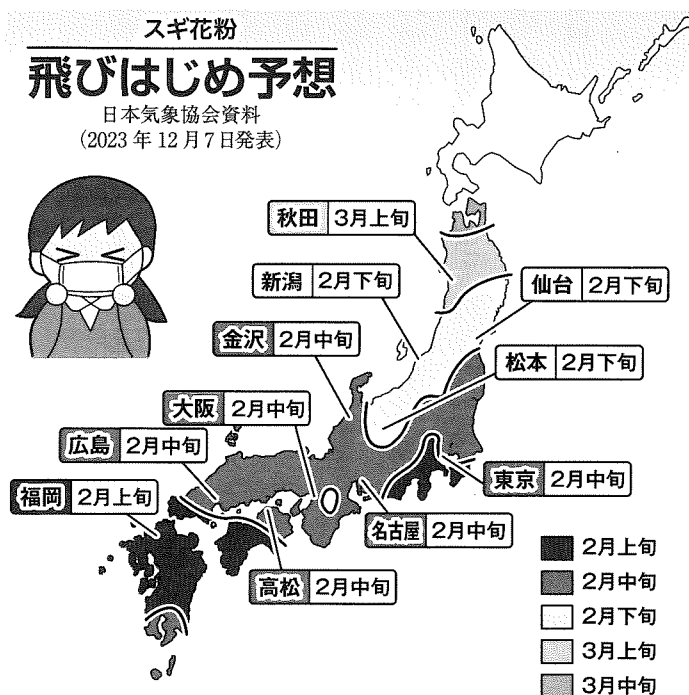
この機会に日頃の生活習慣を見直して、改善に取り組みましょう。



## 2月の安全衛生歳時記

## 2月20日「アレルギーの日」

## 17日~23日 アレルギー週間



2月20日は「アレルギーの日」、そしてその後の17日から23日は「アレルギー週間」です。「アレルギーの日」は、免疫学者の石坂公正・照子夫妻が、ブタクサによる花粉症の研究からアレルギーの原因となる抗体を発見、1966(昭和41)年2月20日に米国の学会で発表したことを記念し、日本アレルギー協会が制定しました。そしてこの前後一週間を「アレルギー週間」として様々な啓蒙活動を行っています。

現在我が国では国民の半数以上が、花粉症、アトピー性皮膚炎、気管支喘息、食物アレルギーなどに代表される何らかのアレルギー性疾患に罹患していると言われますが、特にこれからの時期に多くの人が悩まされるのが花粉症です。今年のスギ花粉の飛散量は昨年夏の猛暑の影響で、全国的に例年(過去10年の平均)よりやや多い見込みです。飛びはじめ時期はほぼ例年並みとの予想です(上図参照)。北海道ではシラカバ花粉が非常に多い見込みです。

花粉症対策としては、インフルエンザやコロナ対策でもあるマスク使用のほか、眼鏡の使用、花粉が付着しにくい衣類の着用、家に入る前に衣類の花粉を落とすなどが有効ですが、規則正しい生活やバランスのとれた食事も必要です。

また、花粉症の症状が出始めたら、早めに専門医の診断・治療を受けることで重症化を防ぐことができますといわれています。

職場の有害物質や空気環境などにも、アレルギーの原因物質がある可能性があります。この機会に作業環境や作業方法を見直しましょう。